

## 令和3年度（2021年度）新規研究課題

課題番号：R3-05

課題名：夏期の異常高温に対応した畑ワサビ育苗技術の確立

研究期間：令和3年度～令和5年度（2021年度～2023年度）

研究担当：農業技術部 園芸作物研究室

### 1 研究の背景

山口県特産のワサビは、加工ワサビの原料や花ワサビとして需要が増加している。周南市や岩国市では、農林総合技術センターが開発した「超促成栽培技術」と育苗技術「底面給水かけ流し法」により、新規就農者による生産拡大を図っている。近年、ワサビの生育適温を大きく上回る夏期の極端な高温により、育苗中の夏枯れ症状（葉枯れ及び根腐れ）が多発し、作付面積や生産量減少等の影響が出ている。

### 2 目的

育苗技術の改良により、超促成栽培用ワサビ苗の夏越し株率と苗質を向上する。

### 3 研究内容

- （1）底面給水かけ流し法を改良し、夏期育苗時の培地冷却効果を高める。
- （2）バイオ苗の馴化やセル成形育苗に、より適した培地を選定する。
- （3）苗冷蔵技術の開発により、夏越し株率と苗質の向上を図る。

### 4 研究のポイント

これまでに開発した底面給水かけ流し育苗技術の改良（ベンチ構造、培地）および、新たな技術（苗冷蔵）開発により解決を図る。

# 夏期の異常高温に対応した畑ワサビ育苗技術の確立

研究期間：R3-R5（2021-2023）

研究担当：農業技術部園芸作物研究室

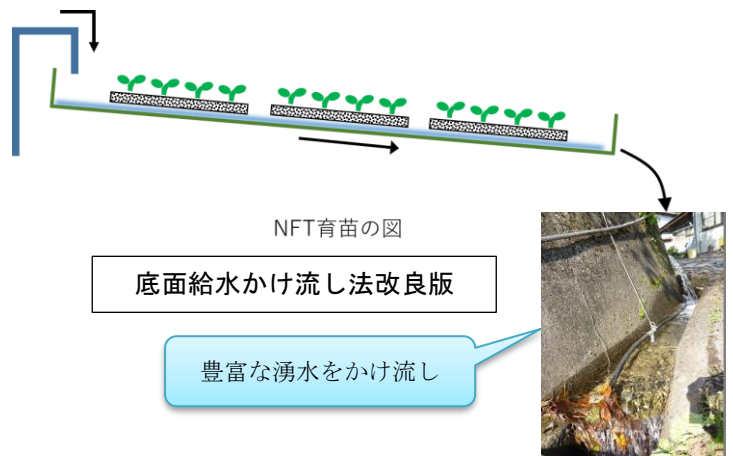
## 【研究内容】

- ・ 底面給水かけ流し法の改良による夏期育苗時の培地冷却効果の向上
- ・ バイオ苗の馴化～育苗およびNFT育苗に適した培地の選定
- ・ 苗冷蔵技術の開発による夏越し株率と苗質の向上

## 1 育苗システムの改良・培地の選定



従来の底面給水かけ流し法  
(培地冷却効果が不十分)



NFT育苗の図

底面給水かけ流し法改良版

豊富な湧水をかけ流し

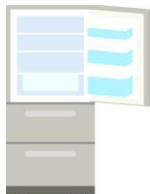


バイオ苗馴化条件の改善



育苗培地の比較

## 2 苗冷蔵技術



適する冷蔵温度・入庫苗ステージ・貯蔵可能期間の調査



### 【目標】

- ・ 夏越し株率 90%以上
- ・ 苗質の向上